

八幡宮の謎

①八幡宮とは

八幡宮の大本は、大分県の宇佐八幡宮である。応神天皇・神宮皇后・三女神等を祭神としている。八幡宮は、法連が神仏習合の道を開き、仏教の普及とともに衆生済度の思想から「村の鎮守の神様」として庶民に受け入れられて、全国一の隆盛（781社）を見るにいたった。（菊池川流域では、41社ある）元は八幡と読み秦氏の神「万幡豊秋津師媛」を祭る神であった。

②古代湖「茂賀の浦」と八幡神社

古代湖「茂賀の浦」を調べているときに不思議に思ったのは、八幡宮がみんな「茂賀の浦」の湖畔に当たるところにあることである。千田聖母八幡宮がAD446年の創立で菊池川流域では一番古い。AD1000年以前に創立の八幡神社は下の図のとおり菊池川流域では15社あり、そのほとんどが「茂賀の浦」の湖畔にある。（中川八幡宮のみ菊池盆地の中にあるが、これは平安時代に千田聖母八幡宮より勘定されたものである）古代より「茂賀の



- ①千田聖母八幡宮
- ②岩原八幡神社
- ③小原八幡神社
- ④鍋田八幡神社
- ⑤八幡八幡神社
- ⑥吉田八幡神社
- ⑦高橋八幡神社
- ⑧津袋八幡神社
- ⑨辺田八幡神社
- ⑩中川八幡神社
- ⑪袈婆尾八幡神社
- ⑫西寺八幡神社
- ⑬佐保八幡宮
- ⑭久米八幡神社
- ⑮福本八幡神社

菊池の古代史研究

中原 英

人権同和教育シリーズ⑤⑧

七城中学校3年

松村奈実

「障がい」

私は「障がい」と聞くとハードルを思い浮かべます。多分ハードル競争から連想したと思うのですが、ハードルが障がいなら、「障がい者」とは、ハードルを持っている人なのではないでしょうか？そう考えると持っている手がどちらか片方でもご飯は気持ちよく食べられないと思います。片手が痛くなってしまいました。

今年の夏、私は利き手を骨折してしまいました。私の生活は右手中心に動いていたので、右手が固定され、包帯を巻かれると何も出来なくなってしまう。しかし、何も出来ないのは最初の数日だけで、練習すれば、左手でお箸を使える程に上達していました。そんな生活の中で考えたのが、「障がい者」とは？ということ。世間では、私みたいに短期間のみで動かすのに困っている人をケガ人と呼びます。それでは、私と「障がい者」の人たちとはどこが違うのでしょうか。どちらも同じ人間で、体の一部が上手

く機能していないのも同じです。そこに違いはないと思います。しかし、世間では骨折と「障がい」は違います。私は右手を骨折したおかげで、左手をうまく使うことが出来るようになりました。話しを聞いたところによると、目の不自由な人は、耳が異常に良いらしく、手が不自由な人は口や他の筋肉がとても発達している人が多いのだそうです。その時点で、障がいを持っている人は私たちよりも優れていると思います。

もう一つ骨折をして気付いたことは、何人かの人から「かわいそう」「大丈夫？」という声を掛けられたことです。心配してくれるのは嬉しいのですが、正直あまり素直に受け入れられませんでした。たまに「頑張れ」という言葉を嫌う人がいますが、私は「頑張れ」と言われた方が好きです。この言葉で元氣になれます。しかし、何を頑張ればいいのか悩んでいる人にとっては、きつい言葉かもしれません。だからこそ、同情や哀れむのではなく、励まして、一緒に頑張るのが一番だと思います。



シリーズ菊池遺産②

問い合わせ先
企画振興課 ☎(25)7250

菊池遺産認定証交付式

菊池遺産認定制度の第1回目の認定証交付式が、4月29日（祝）に行われ、菊池遺産認定審査会の審査を経て、認定となった29件に対して福村市長が、認定証を交付しました。今回から菊池遺産として認定されたものをシリーズで紹介していきます。

台の椋の大木 「妙見さん」と地藏菩薩

台の簡易郵便局を北方に県道を100mあまり行くと右側に地藏があり、崖の中段に椋の大木があります。台城跡の法面に茂っており、台区のシンボルとして「妙見さん」という呼び名で親しまれています。菊池川が物資輸送の大動脈だったころ、



菊池遺産認定第ふるさとH21-1号 推薦者 台区



菊池遺産認定第ふるさとH21-2号 推薦者 台区



菊池遺産認定第ふるさとH21-3号 推薦者 台区

この椋の大きな幹が、道の上に弓のように茂っていたため、舟をつなぐのにもってこいの場所であったようです。

また、神木として祀られており、その根元には、地藏菩薩も祀られています。

台の石塔(板碑1枚)

菊池十八外城の一つである、台城の南側入口から城跡へ上がる道と、水島の番所跡入口から城跡へ上がる道が交差するところに、石塔が置かれています。

凝灰岩の自然石を利用したこの石塔には、梵字（バーンク）が刻み込まれており、南北朝時代のもの水島の戦いでの供養を意味するものではないかと考えられています。また、この石塔のみが「いしぼとけさん」と呼ばれています。

台の石塔 (板碑1枚、地藏菩薩2塔)

菊池十八外城の一つである、台城跡の入口に石塔と地藏菩薩、放牛地藏菩薩が置かれています。

石塔は、凝灰岩で造られており、やや扁平な板石で、上部には、葉研彫りされた梵字（アー）が大きく刻み込まれてあり、南北朝時代のもので水島の戦いでの供養を意味するものではないかと考えられています。また、地藏菩薩と放牛地藏菩薩は、街道筋にあることから、交通安全を願って建てられたものと考えられています。

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎(23)1155

文教の里 菊池に育った

「徳富愛子展」～徳富蘆花夫人～

期間：5月18日(火)～6月6日(日)

かつて、隈府の町はどの家々からも論語を学ぶ声が聞こえていました。

菊池21代重朝公の菊池万句で知られるように文教豊かな地に生まれ育った徳富蘆花夫人「愛子さん」にゆかりの展示です。

絵手紙 「私たちの取り組み」～夢美会教室～

期間：6月8日(火)～6月20日(日)

菊池一族の「よろい展」

期間：6月23日(水)～7月19日(月)

24代の鎧すべてを展示します。中世期にこの菊池を中心として活躍した、私たちのご先祖様の鎧を着付け体験してみませんか？

開館時間 午前9時～午後6時



わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎(24)6630

あじさい展

菊池市あじさい愛好会

後藤公也

期間：5月下旬～6月上旬

花の機嫌をうかがって、5月下旬から6月上旬の花一番の時に展示を行います。花の管理、花後の剪定および技術指導も行いたいと思います。

念ずれば、花ひらく

麗新書道会 安武美麗

期間：6月22日(火)～7月4日(日)

くも膜下出血のリハビリ(絵と書)の世界。高い精神力を持った生き方、家族の歩みをご覧いただければ幸いです。

